



7月20日(土) できたてのモッツアレラチーズを持って「はいチーズ」

今後の予定

8月11日(日)

- ▶家庭にある道具だけで、様々な食材からDNAを抽出してみよう。
- ▶身の周りに存在するバイ菌を見てみよう、育ててみよう!
- ▶動物看護師を体験してみよう!

大学HP OPEN LABO.
テーマ検索や予約ができる

秋の部開催決定

スポーツ、化学、生物、検査、脳科学の分野からOPEN LABO.初公開のイベントを計画している。詳細は8月中旬に決定し、大学HPに掲載する。そして、夏休み明けに近隣の学校への配布を計画している。春に引き続き、秋もよろしくお願いいたします!!

オープンラボ新聞

発行人
StudioNoguchiOPEN LABO.の学生スタッフと打ち上げ
東草園にてスイカパーティー

**夏休みは
オープンラボで決まり!**

2024年7月21日(日) 本年度四回目のオープンラボが開催された。夏休み初めの日曜日ということで、多くの来場者でにぎわった(参加者は37名)。今回の分野は生物、化学そして検査である。

そう。懐の深さがオープンラボのウリである。今回はどのようなテーマだったのか。スタッフによる調査結果をまとめた。

盛夏



7月21日(日) 晴れ「今日は環境について考える1日だ!」

オープンラボ新聞

発行人
StudioNoguchi

今日集めたプラスチックは62個。
プラスチック162個分海を
綺麗にすることに成功しました!

参加者アンケートより抜粋

海岸に行ったとき、みなさまは何を見ますか? 遠く通る水面や白い雲ではないでしょうか。海岸には様々なものが流れ着きます。今回は、海洋汚染問題となっているマイクロプラスチック(500μ以下)を、大学前の鏡子マリナ海水浴場で回収しました。実際に見てみると、とても小さいので、ゴミ拾いの様に簡単には拾えません。小さくなる前に回収すること、こみを出さないことが、とても大事だという事に気が付いていただけたと思います。



大学をバックにマイクロプラスチック調査団の集合写真

海岸に出て漂流物を調査しようー マイクロプラスチック

初参加のメンバーは37名。海岸に出るので、参加者の安全を確保するために、常に全体に気を配っていたのですが、皆さんが砂浜で楽しく活動をしていたのが印象的でした。自分自身、初めて漂着マイクロプラスチックの回収に参加し、思った以上に砂浜から回収できることに驚きました。講義では、プラスチックの多くが浮かずに沈んでいるという話を聞き、目に見えていないゴミも沢山あることを理解しました。



錠剤を作る「打錠機」の説明を聞く来場者たち